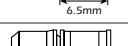
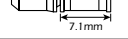


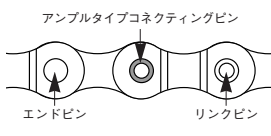
安全のために必ずお守りください。

警告

“メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリナーで定期的に洗浄してください。錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しないでください。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。”

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- ナロータイプチェーンは必ずアンブルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンブルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。アンブルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンブルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと十分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンブルタイプ コネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	 シルバー	TL-CN32/TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8、7、6段対応 ナローチェーン	 ブラック	TL-CN32/TL-CN27

- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンブルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所
 で切断してください。アンブルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所ではチェーンを損傷します。
- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し可動部（メカニズム部及びプリー一部）に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- プリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がるようになった場合は、プリーを交換してください。
- 車輪の回転が重くなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- ギアは必ず同じグループ刻印のセットで使用し、別グループ刻印のギア板を組み合わせて使用しないでください。
- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが動きにくいいため、ご使用できません。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱方法メンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

* 取扱説明書は以下にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>
製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

ご使用方法

SI-6V3RA-001

リアドライブシステム

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

ラピッドファイヤープラス	ST-EF65-8R	ST-EF65-7R
アウターケーブル	OT-SP40	
リアディレイラー	RD-M360 / RD-M310	
タイプ	RD-M360 (SGS) / RD-M310 (Smart Cage)	
フリーハブ	FH-RM30-8	FH-RM30-7
スピード	8	7
カセットスプロケット	CS-HG31-8	CS-HG41-7 CS-HG20-7
チェーン	CN-HG50 / CN-HG40	
ケーブルガイド	SM-SP18 / SM-BT18	

仕様

リアディレイラー

モデルナンバー	RD-M360 / RD-M310
タイプ	RD-M360 (SGS) / RD-M310 (Smart Cage)
トータルキャパシティ	43T
リア最大ギア	28T - 34T
リア最小ギア	11T
フロント歯数差	20T
適応フロントチェーンホイール (ギア歯数構成)	FC-M311 (42-32-22T / 48-38-28T) FC-M171 / M131 (42-34-24T / 48-38-28T)

カセットスプロケット歯数構成

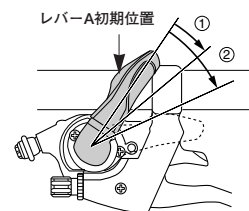
モデルナンバー	スピード	グループ名	歯数構成
CS-HG31-8	8段	an	11, 13, 15, 17, 20, 23, 26, 30T
	8段	aw	11, 13, 15, 18, 21, 24, 28, 32T
	8段	ao	11, 13, 15, 17, 20, 23, 26, 34T
CS-HG41-7	7段	ac	11, 13, 15, 18, 21, 24, 28T
	7段	bp	12, 14, 16, 18, 21, 26, 32T
CS-HG20-7	7段	E	12, 14, 16, 18, 21, 24, 28T

変速操作方法

レバーA、Bとも変速完了後、指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようになっています。レバー操作する時は必ずクランクを廻しながら行ってください。

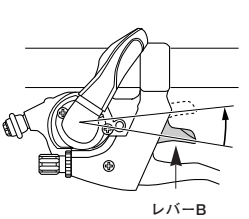
小ギアから大ギアへの変速（レバーA）

1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。



大ギア从小ギアへの変速（レバーB）

1回操作して離すと、大ギア从小ギアへ1段変速します。



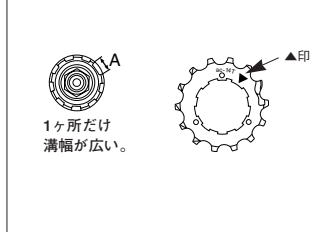
リアディレイラーの取付け

取付けの際、Bテンションアジャストボルトがフォークエンド爪部に当たって変形しないようご注意ください。



ギアの取付け

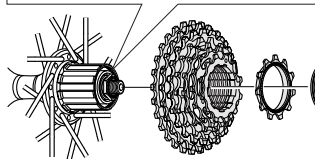
各ギアとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部のA部（溝幅が広いところ）と各ギアの▲印を合わせてセットします。



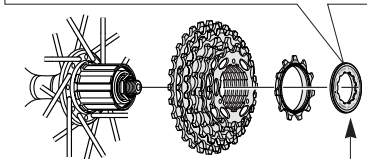
ギアの取付けは専用工具 (TL-LR15 / LR10) でロックリングを締め付けます。

締め付けトルク：
30 - 50 N・m (300 - 500 kgf・cm)

ギアの交換は専用工具(TL-LR15 / LR10) とTL-SR21でロックリングを取り外します。



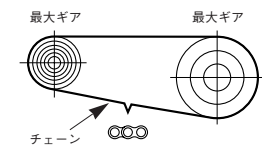
CS-HG31-8 (an, aw, ao)



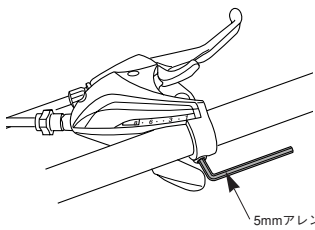
CS-HG41-7
CS-HG20-7

チェーンの長さ

フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



シフティングレバーの取付け



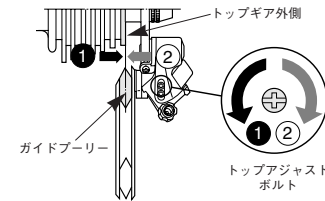
ハンドルグリップは最大外径がφ32mm以下のものをご使用ください。

締め付けトルク：
6 - 8 N・m (60 - 80 kgf・cm)

SISの調整

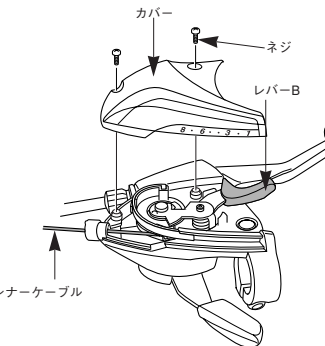
1. トップ側の調整

後方から見て、ガイドプリーがトップギアの外側の線の上に来るようにトップアジャストボルトを回して調整してください。



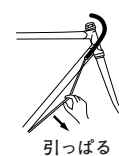
2. インナーケーブルの取付と固定

レバーBを7回以上操作してトップ位置にセットします。ネジをはずしてカバーを取り外します。図のようにインナーケーブルを引きだして抜きとり、新しいインナーケーブルを取付けます。

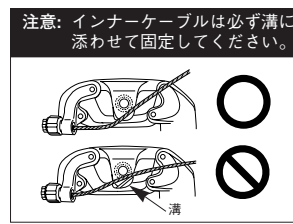


締め付けトルク：
0.3 - 0.5 N・m (3 - 5 kgf・cm)

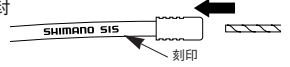
インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおします。



締め付けトルク：
5 - 7 N・m (50 ~ 70 kgf・cm)



インナーケーブルの通し方向
アウターケーブルの刻印側からインナーケーブルを通してください。ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。

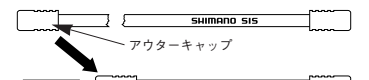


アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

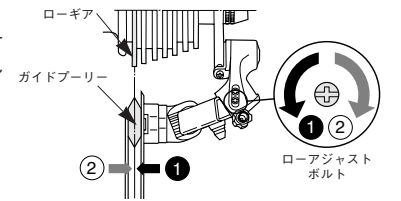


アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。



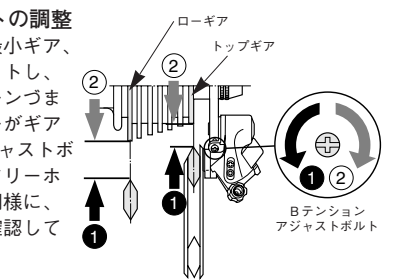
3. ロー側の調整

ガイドプリーがローギアの真下にくるようにローアジャストボルトを回して調整してください。



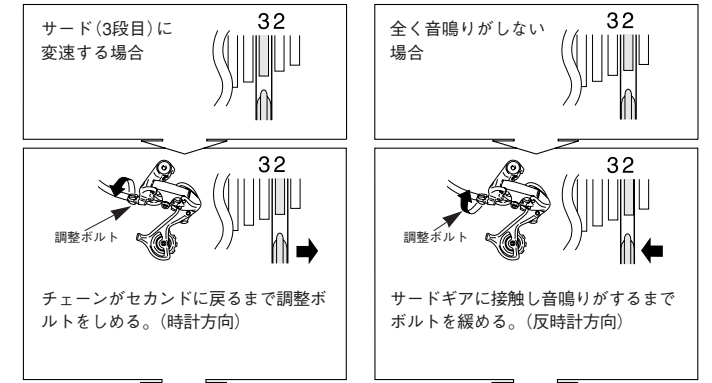
4. Bテンションアジャストボルトの調整

チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。チェーンつまりしない位置までガイドプリーがギアに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンつまりがないことを確認してください。



5. SISの調整

シフティングレバーを一回操作して、リアギアを2段目に変速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。



ベストセッティング

シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。
*レバーをもとの位置に戻し（レバーはセカンドの位置でレバーから指を離れた状態）、クランクを回転させてください。サードギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締め（時計方向）、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。
レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

フリーホイール部の交換

ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のカセット取付ボルトを取り外し、フリーホイール部を交換してください。

ご注意：フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

締め付けトルク：
35 - 50 N・m (350 - 500 kgf・cm)

